

平成30年度サービス水準評価結果

施設概要

施設名称	板橋区立エコポリスセンター	所在地	東京都板橋区前野町4-6-1
所管課名	環境政策課	指定期間	平成29年4月1日～平成34年(令和4年)3月31日
指定管理者名	板橋エコみらいプロジェクト 代表者(株)小学館集英社プロダクション	指定管理者の 所在地	東京都千代田区神田神保町2-30
設置目的	誰もが快適に暮らせる社会を目指して、地域環境から地球的規模の環境にまで配慮した生活様式を普及推進することにより、人と環境が共生する都市の形成に寄与し、もって区民の生活環境の向上に資する。		
基本理念	①全ての区民に対し地球的規模の環境にまで配慮した生活様式を普及促進し、区民の生活環境の向上を図るため、センターの設置目的に基づく管理運営を行う。 ②区民・区民団体や企業・商店等、様々な主体の自主的な環境活動が活発になるよう、広報・プロモーション活動、情報交換・交流の場の提供等の支援を行い、区内全体の環境活動の活性化を図る。 ③区の環境施策を展開する活動の拠点としての役割を担うほか、土木部みどり公園課、教育委員会の行政施策との連携・協力を行う。		
行動規範	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板橋区立エコポリスセンター条例、その他の環境法令やマニュアルを遵守する。</li> <li>・計画的、創意的な業務の遂行により経費を節減し、効率的な管理運営を実現する。</li> <li>・常に安全確保を優先し、安心して過ごせる空間を実現する。</li> <li>・要望や意見の把握、「もてなしの心」で対応に努め、高質なサービスをもって利用者増加を図る。</li> <li>・地域団体との連携や事業への参加等を通して、社会や地域に貢献する。</li> <li>・事業を内外から評価する仕組みを整備し、業務を改善し、説明責任を果たす。</li> </ul>		
業務内容	環境教育の「居場所」としてのエコポリスセンターに生まれ変わらせる。「知る・気づく」→「考える・学ぶ」→「行動する」→「交流する・育てる」のサイクルを確立させ、区民が区民を育てる仕組みを構築する。また、多種多様な広報施策により来館者を増やすとともに、区内へのネットワークを活かし、地域とともに「板橋区の未来」を創造する。		

評価結果

評価項目	事業の目標と具体的な取組	一次評価(指定管理者による自己点検)					評価点			
		実施結果やサービス水準の増減理由など								
<b>【施設の経営方針に関する事項】</b>										
経営方針に基づく具体的な行動										
	基本理念	具体的な目標	サービス水準	目標値・実績値(経過)					評価点	
				H29	H30	H31(R1)	H32(R2)	H33(R3)		
基本理念の達成に向けて、経営方針に基づく具体的な目標や取組、サービス水準を設定し、業務に取り組んでいるか	①	板橋区の環境啓発施設としての拠点機能を活性化	来館者数の増加	目標	170,000	176,800	182,104	185,746	189,461	4 / 5
				実績	145,337	161,537				
				増減理由	環境啓発施設としての拠点機能を活性化させるために、イベントや講座の周知を各町会の協力のもと区内各所の町会掲示板で行ったことに合わせ、内部施策として人気のある「エコポ・フリーマーケット」の開催を増やしたり、「館内展示」を参加型として充実させたり、「4館ウェルカムキッズフェス」や「エコライフフェア秋」など館内で行われるイベントを新たに企画したりするなど、来館する機会を拡充させた。そのため平成29年度よりも1万人ほど来館者数が増加したが、目標値には届かなかった。的を絞った効率的な広報戦略や事業展開を努めたい。					
		区民への環境学習・啓発の機会提供	一般区民を対象とした環境学習・啓発事業の開催	目標	89	92	95	97	100	5 / 5
				実績	91	111				
				増減理由	指定管理2年目ということで、より計画的な事業運営に尽力したため、開催事業が増加している。内訳は以下の通り。「リサイクル・ワークショップ:35回」「エコみらい塾一般:5回」「環境学習講座:8回」「わくわく子ども工作:30回」「昔遊び:10回」「館内展示:22回」「グリーンカレッジとの共催事業:1回」					
		環境に配慮した生活様式への意識付け	参加者アンケート等にて答えてもらう「My環境宣言」の回収	目標	500	520	540	560	580	5 / 5
				実績	738	781				
				増減理由	平成30年度は講座アンケートによる回収数380枚と「館内参加型展示」エコエコハロウィーンによる実施数401枚との合算。来館者が増えたことが直接の理由かと思われる。					

評価項目	事業の目標と具体的な取組		一次評価(指定管理者による自己点検)					評価点	
			実施結果やサービス水準の増減理由など						
			目標	実績	増減理由	目標	実績		
②	環境活動団体をはじめとした様々な利用者との連携・情報共有	「環境活動連絡会」の開催	目標	4	4	4	5	5	5 / 5
			実績	7	7				
			増減理由	登録環境団体やエコライフサポーターだけでなく、地区の環境行動委員向けの事業も合算すると、環境活動連絡会(5回)、スキルアップ研修、前野町町会講座の7回となる。					
	地域に根ざした広報活動	広報・プロモーション業務における地域・学校・企業等との連携	目標	20	22	25	28	30	5 / 5
			実績	31	33				
			増減理由	地域・学校・企業との連携については、平成29年度から引き続き尽力し、計画的な事業運営を行ったことにより、平成30年度に連携数が微増している。 【地域】緑のカーテン育成講習会(9回)、緑のカーテン料理講習会、緑のカーテンスタンプラリー、4館スタンプラリー、4館ウェルカムキッズフェス、フリーマーケット(7回)、手作り市(4回)、地域エコロジー(7回) 【学校】環境調査 【企業】環境パネル展					
	世間一般への効果的な広報活動	ホームページ訪問者数の増加	目標	50,000	52,000	55,000	58,000	60,000	5 / 5
			実績	95,908	85,796				
			増減理由	数字はHPアクセス数とFacebookページのリーチ数の合算。平成29年度から継続してHP上でのWEB申込を受け付けていることに合わせ、大人向けや子ども向けなど、利用者が目的別にページを訪れることができるようレイアウトをリニューアルした。HPでのお知らせや報告なども充実させ、投稿数も180件から340件に増やしたことにより、HP訪問者数が増大した(平成29年度39,398→平成30年度45,578)。平成29年度よりSNS(Twitter・Facebook・Instagram)に力を入れ、講座やイベントの開催前、開催中、開催後などタイミングを考慮した広報をHPと両輪で展開しており、投稿数も各3種類のSNS合算で947件から1153件に増大させたが、合算では平成30年度は前年度と比べて減少している(特に、指定管理者が変わり新規オープンした当初の平成29年度の4月～6月のリーチ数が多かったため、相対的に比較すると合算では減少している)。					
③	個人での環境活動拠点としての機能の活性化	「エコライフサポーター」登録者の増加	目標	60	65	70	75	80	5 / 5
			実績	50	104				
			増減理由	インターネット上での申請紙のダウンロードを可能としたり、東京家政大生への呼びかけや、日本ペット&アニマル専門学校生への呼びかけ、「板橋エコみらい塾」での呼びかけ、来館者への打診、町会への声かけなど幅広く呼びかけたことで、特に学生の登録が多くなり、昨年度よりも大幅に登録数が増加した。					
	団体での環境活動拠点としての機能の活性化	「登録環境団体」の増加	目標	29	31	33	35	37	3 / 5
			実績	20	22				
			増減理由	昨年度からの継続申込が多い中、2件の新規登録を受け付けた。登録環境団体制度などを紹介するガイドの機会を新規で創出したり、登録環境団体を紹介するハンドブックを新たに作成もしたが、登録環境団体制度が浸透しているとはいえない状況にあるため、効果的な広報施策を検討して新規登録数の増加を目指す。					
	教育委員会と連携した事業の開催	教育委員会との「子ども環境大使」に関する連携事業の実施	目標	4	4	5	5	6	5 / 5
			実績	4	4				
			増減理由	「出前授業」、「ヤゴ救出作戦」、「身近な環境に関する標語・ポスター展」の周知(3件)を教育委員会と調整し、小学校と連携した事業を開催した。また、上記に加えて板橋第二小学校と板橋第七小学校がユネスコスクールに指定されたことに伴い、エコポリスセンターが2校を「子ども環境大使」として任命し、2校の成果物を館内で展示して広く一般に周知するなど教育委員会との連携を継続的に図っている。					

\* サービス水準の採点方法

(5点:達成率100%以上、4点:達成率90%以上100%未満、3点:達成率70%以上90%未満、2点:達成率50%以上70%未満、1点:達成率50%未満)